

【 子どもも親も自立に向けて・・・ 】

年長児が小学校へ健診に行く日程案内がくる季節になりました。数ヶ月後には小学生です。それぞれの小学校へ行き、挨拶したり、健診を受けたり、子ども達もドキドキです。ランドセルを買ってもらったり、家に届くDMなど、徐々に小学校への準備が整っていきますね。先日、小学校1年生の授業参観に行き、区内の小学校・保育園・幼稚園の先生方との意見交換をしましたが、その中で文字が書けることや数がわかる、というよりも、法人の保育目標である

- ① 基本的生活習慣の自立
- ② 自主性・自発性の確立
- ③ 社会性の確立

を出来るだけ園生活の中で獲得してもらい、小学校へ送り出すことが大事だと改めて感じました。

【① 基本的生活習慣の自立】

⇒自分のことが自分で思う通りに出来る！
当たり前なのですが、子どもにとって、こんなに嬉しくて素晴らしいことはありません。身辺自立が出来ていることが自信になり、小学校でも自然体で過ごせます。園ではその自立を獲得できるよう、やり方を伝え、信じて見守ることを心がけていますが、ご家庭ではどうでしょうか。

例えば…クッキングで使うエプロン・三角巾・マスクは自分でリュックに入れていませんか？
傘をクルクル巻いて一人で留めることは出来ますか？
自分の荷物は自分で持っていますか？
小学校は制服の学校が多いので、スカートやチャックのあるズボンでのトイレの経験もお休みの日に意識してみてください。

これを普段からやっていると「足りない物や忘れ物をしていないか自分で考えたり、周りを見回すクセが付く」と思います。

また【給食】では・・・学校で多少の違いはあると思いますが、『手洗い、準備、配膳15分』『食事20分』『片付け5分』で行うそうです。年長にはこの時間も少しずつ意識してもらいます。



【② 自主性・自発性の確立】 【③ 社会性の確立】

⇒自分の想い（気持ち）を言葉に出せることも自立の1つですね。
例えば…「トイレに行きたい」とか「〇〇を忘れた」など自分から言える。
誰にでも挨拶や自己紹介が出来たり、その時々々の礼儀がわかる。
やりたい事を表明したり、相手と折り合いをつけることが出来る。

何かあった時は「こう言うといいよ」など、その時々々の言い方を教えてあげるのが大切です。親としては保育園に通っている間に【子離れの気持ちの準備】を徐々に始めましょう。2歳ぐらいまでは子どもと「一心同体」という感覚が強いかと思いますが、幼児になると「この子はこの子で自分とは違う」と思えるようになる方も多いと思います。

小学校からのお知らせは保育園ほど細かくないので、親も自分で考えて用意することが増えます。『子離れする意識＝親も自立』を自分の中に少しずつ育てていくといいですね。